

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相洋産業株式会社新工場 新築工事	階数	地上2F
建設地	小田原市堀之内字塚田28-1, 31-1, 32-9, 32-11, 32-13, 41-13, 48-8, 中曽根字堂免84-1	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	90 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2023年2月20日
敷地面積	17,603 m ²	作成者	株式会社YCK
建築面積	3,901 m ²	確認日	2023年2月20日
延床面積	4,517 m ²	確認者	株式会社YCK



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 46 (74%)

③上記+②以外の: 46 (74%)

④上記+: 46 (74%)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 1.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・周辺環境へ配慮を心がけ、設備の高効率化に努める		特に無し
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特に無し	・ 室の階高を平均3.65m(事務所)、5.00m(加工工場)確保。 ・ 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長く出来るよう努めた。	・ 緑地帯を設け、環境に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・ 建物全体BEI=0.56 ・ LED照明の採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	・ 節水型の衛生設備を採用する。 ・ 鉄骨躯体と仕上げ・設備配管・配線等、工種別の解体が容易にできるようにした。	・ 駐車場の台数の確保、導入路・配置等に配慮した。 ・ 夜間における敷地内歩行者・自動車のための照明を設置する。 ・ 出入口付近での安全を確保する為、出入口付近では歩行者・車両共に十分な見通しを確保する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される